

等積中心アファ
イン閉曲線
のなす空間の
間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ
イン曲線

等積中心アファ
イン閉曲線

平面曲線の
場合

一般次元の
場合

平面への射影

空間への射影

等積中心アファイン閉曲線 のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

関西大学システム理工学部数学科

2020年2月10日(月)

日本大学, Koriyama Geometry and Physics Days 2020

“Integrable systems, projective invariants, and related topics”

(黒瀬俊氏 (関西学院大学), 森吉仁志氏 (名古屋大学) との共同研究)

内容

等積中心アファ
イン閉曲線
のなす空間の
間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ
イン曲線

等積中心アファ
イン閉曲線

平面曲線の
場合

一般次元の
場合

平面への射影

空間への射影

- 1 序
- 2 等積中心アファイン曲線
- 3 等積中心アファイン閉曲線
- 4 平面曲線の場合
- 5 一般次元の場合
- 6 平面への射影
- 7 空間への射影

背景と主結果

等積中心アファ
イン閉曲線
のなす空間の
間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ
イン閉曲線

等積中心アファ
イン閉曲線

平面曲線の
場合

一般次元の
場合

平面への射影

空間への射影

- 等積中心アファイン平面閉曲線のなす空間
 - 円周の微分同相群が作用する
 - 更に Virasoro-Bott 群が作用する
 - 上の空間は Virasoro 代数の双対の余随伴軌道とみなせる
 - シンプレクティック幾何的な性質を調べることができる
- 一般次元の場合
 - 等積中心アファイン閉曲線のなす空間を考える
 - 円周の微分同相群が作用する
 - 平面曲線, 空間曲線のなす空間への射影が定まる
 - 上の作用に関して同変となる

等積中心アファイン曲線の定義

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

定義

I : 区間

$n = 2, 3, 4, \dots$

$\gamma : I \rightarrow \mathbf{R}^n \setminus \{0\}$: 等積中心アファイン曲線

\Updownarrow def.

$$\det \begin{pmatrix} \gamma \\ \gamma' \\ \vdots \\ \gamma^{(n-1)} \end{pmatrix} \equiv 1$$

$s \in I$ を等積中心アファイン弧長径数という

等積中心アファイン曲線の基本定理

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

$\gamma : I \rightarrow \mathbf{R}^n \setminus \{0\}$: 等積中心アファイン曲線

$\implies \exists \kappa_1, \kappa_2, \dots, \kappa_{n-1} : I \rightarrow \mathbf{R}$ s.t.

$$\gamma^{(n)} + \kappa_1 \gamma^{(n-2)} + \kappa_2 \gamma^{(n-3)} + \dots + \kappa_{n-1} \gamma = 0$$

$i = 1, 2, \dots, n-1$ に対して κ_i を第 i 曲率という

等積中心アファイン曲線の基本定理

$\kappa_1, \kappa_2, \dots, \kappa_{n-1} : I \rightarrow \mathbf{R}$

$\implies \exists \gamma : I \rightarrow \mathbf{R}^n \setminus \{0\}$: 第 i 曲率が κ_i の等積中心アファイン曲線

原点を固定する等積アファイン変換の合成を除いて一意

原点を固定する等積アファイン変換:

- $SL(n, \mathbf{R})$ の元を掛けること
- 等積中心アファイン変換という

例

定曲率等積中心アフィン平面曲線

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

等積中心アフィン平面曲線を考える
第1曲率を等積中心アフィン曲率という

例1 (定曲率等積中心アフィン平面曲線)

$\gamma: I \rightarrow \mathbf{R}^2 \setminus \{0\}$: 等積中心アフィン平面曲線

κ : 等積中心アフィン曲率

○ $\kappa \equiv 0$ のとき γ は直線の一部

$$\gamma(s) = (a + bs, c + ds) \quad (a, b, c, d \in \mathbf{R}, ad - bc = 1)$$

○ κ が正の定数のとき γ は楕円の一部

$$\gamma(s) = \left(a \cos \frac{s}{ab}, b \sin \frac{s}{ab} \right) \quad (a, b > 0) \quad \left(\kappa = \frac{1}{a^2 b^2} \right)$$

○ κ が負の定数のとき γ は双曲線の一部

記号の準備

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン閉曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

- 周期 2π の等積中心アファイン閉曲線を考える:

$$\gamma: \mathbf{R} \rightarrow \mathbf{R}^n \setminus \{0\}$$

ただし

$$\det \begin{pmatrix} \gamma \\ \gamma' \\ \vdots \\ \gamma^{(n-1)} \end{pmatrix} \equiv 1, \quad \forall s \in \mathbf{R}, \quad \gamma(s + 2\pi) = \gamma(s)$$

等積中心アファイン閉曲線という

- $S^1 := \mathbf{R}/2\pi\mathbf{Z}$ (円周)
上の γ を S^1 からの写像とみなす
- $\mathcal{M}_n: \mathbf{R}^n \setminus \{0\}$ 内の等積中心アファイン閉曲線全体
- $\mathcal{M}_n/\mathrm{SL}(n, \mathbf{R}): \mathbf{R}^n \setminus \{0\}$ 内の等積中心アファイン閉曲線の合同類全体

例

n が偶数のときの定曲率等積中心アフィン閉曲線

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 2 (n が偶数のときの定曲率等積中心アフィン閉曲線)

$\gamma \in \mathcal{M}_{2m}$ ($m \in \mathbf{N}$) s.t. $\kappa_1, \kappa_2, \dots, \kappa_{2m-1}$: 定数

γ は

$$\gamma(s) = (\cos \lambda_1 s, \sin \lambda_1 s, \dots, \cos \lambda_m s, \mu \sin \lambda_m s) \quad (s \in S^1)$$

と表される

ただし $\lambda_1, \lambda_2, \dots, \lambda_m$ は互いに異なる自然数

$$t^{2m} + \kappa_1 t^{2m-2} + \dots + \kappa_{2m-1} = (t^2 + \lambda_1^2) \cdots (t^2 + \lambda_m^2)$$

$$(\kappa_2 = \kappa_4 = \dots = \kappa_{2m-2} = 0)$$

また

$$\frac{1}{\mu} = \prod_{i=1}^m \lambda_i \prod_{i < j} (\lambda_i^2 - \lambda_j^2)^2$$

例

n が奇数のときの定曲率等積中心アフィン閉曲線

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 3 (n が奇数のときの定曲率等積中心アフィン閉曲線)

$\gamma \in \mathcal{M}_{2m+1}$ ($m \in \mathbf{N}$) s.t. $\kappa_1, \kappa_2, \dots, \kappa_{2m}$: 定数

γ は

$$\gamma(s) = (\cos \lambda_1 s, \sin \lambda_1 s, \dots, \cos \lambda_m s, \sin \lambda_m s, \mu) \quad (s \in S^1)$$

と表される

ただし $\lambda_1, \lambda_2, \dots, \lambda_m$ は互いに異なる自然数

$$t^{2m+1} + \kappa_1 t^{2m-1} + \dots + \kappa_{2m} = t(t^2 + \lambda_1^2) \cdots (t^2 + \lambda_m^2)$$

$$(\kappa_2 = \kappa_4 = \dots = \kappa_{2m} = 0)$$

また

$$\frac{1}{\mu} = \prod_{i=1}^m \lambda_i^3 \prod_{i < j} (\lambda_i^2 - \lambda_j^2)^2$$

円周の微分同相群の作用

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン閉曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

$\text{Diff}(S^1)$: 向きを保つ S^1 の微分同相写像全体からなる群
 $\gamma \in \mathcal{M}_n, g \in \text{Diff}(S^1)$

$$\tilde{\gamma}(s) := (\gamma \cdot g)(s) := (g'(s))^{\frac{1-n}{2}} (\gamma \circ g)(s) \quad (s \in S^1)$$

命題

上の式は $\text{Diff}(S^1)$ の $\mathcal{M}_n, \mathcal{M}_n/\text{SL}(n, \mathbf{R})$ への作用を定める

証明

$k = 0, 1, 2, \dots, n-1$ とすると

$$\tilde{\gamma}^{(k)} = (g')^{\frac{1-n}{2}+k} (\gamma^{(k)} \circ g) + \dots$$

また

$$\sum_{k=0}^{n-1} \left(\frac{1-n}{2} + k \right) = 0$$

軌道分解

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容
序

等積中心アファイン曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

平面曲線の場合を考える

$l \in \mathbf{N}$

$\mathcal{M}_{2,l}$: 回転数 l の等積中心アファイン平面閉曲線全体

$$\mathcal{M}_{2,l} = \left\{ \gamma \in \mathcal{M}_2 \mid \frac{1}{2\pi} \int_{S^1} \arg \gamma(s) ds = l \right\}$$

$\mathcal{M}_{2,l}/\mathrm{SL}(2, \mathbf{R})$: 回転数 l の等積中心アファイン平面閉曲線の合同類全体

このとき

$$\mathcal{M}_2 = \bigsqcup_{l \in \mathbf{N}} \mathcal{M}_{2,l}, \quad \mathcal{M}_2/\mathrm{SL}(2, \mathbf{R}) = \bigsqcup_{l \in \mathbf{N}} (\mathcal{M}_{2,l}/\mathrm{SL}(2, \mathbf{R}))$$

第2式は $\mathrm{Diff}(S^1)$ の $\mathcal{M}_2/\mathrm{SL}(2, \mathbf{R})$ への作用による軌道分解
特に $\mathrm{Diff}(S^1)$ の $\mathcal{M}_{2,l}/\mathrm{SL}(2, \mathbf{R})$ への作用は推移的

等積中心アファイン曲率の変換則

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影
空間への射影

$\gamma \in \mathcal{M}_2, g \in \text{Diff}(S^1)$
このとき

$$\tilde{\gamma} = \gamma \cdot g = (g')^{-\frac{1}{2}}(\gamma \circ g)$$

命題

κ : γ の等積中心アファイン曲率

$\implies \tilde{\gamma}$ の等積中心アファイン曲率は

$$(g')^2(\kappa \circ g) + \frac{1}{2}S(g)$$

ただし $S(g)$ は g の Schwarz 微分:

$$S(g) = \left(\frac{g''}{g'}\right)' - \frac{1}{2}\left(\frac{g''}{g'}\right)^2$$

記号の準備

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン閉曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

- $\text{Diff}(S^1)$ の \mathcal{M}_n への作用を考える

$$\mathcal{M}_n \ni \gamma \mapsto \tilde{\gamma} = \gamma \cdot g \in \mathcal{M}_n \quad (g \in \text{Diff}(S^1))$$

- 曲率の変換則を求めたい

- $\alpha := \frac{1-n}{2}$

- 単に

$$\tilde{\gamma} = (g')^\alpha \gamma$$

などと書く

- $h := \frac{g''}{g'}$

- h, h', h'', \dots を独立変数とみなす

- $h^{(k)}$ の次数を $(k+1)$ とする

- h, h', h'', \dots の多項式 P の重み付き次数が定められる

- $\deg_w P$ と表す

曲線の微分の変換則

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

補題

○ $k = 1, 2, \dots, n$ とすると

$$\tilde{\gamma}^{(k)} = \sum_{l=0}^{k-1} P_{k,l} \tilde{\gamma}^{(l)} + (g')^{\alpha+k} \gamma^{(k)}$$

ただし $P_{k,l}$ は

$$\deg_w P_{k,l} = k - l$$

の h, h', h'', \dots の同次多項式

○ 次の3つの漸化式がなりたつ

漸化式 1: $k = 1, 2, \dots, n-1$ のとき

$$P_{k+1,0} = \sum_{m=0}^{k-1} \frac{\partial P_{k,0}}{\partial h^{(m)}} h^{(m+1)} - (\alpha + k) P_{k,0} h$$

曲線の微分の変換則

補題の続きと証明 (1/4)

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容
序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

補題 (続き)

漸化式 2: $k = 2, 3, \dots, n-1, l = 1, 2, \dots, k-1$ のとき

$$P_{k+1,l} = \sum_{m=0}^{k-l-1} \frac{\partial P_{k,l}}{\partial h^{(m)}} h^{(m+1)} + P_{k,l-1} - (\alpha + k)P_{k,l}h$$

漸化式 3: $k = 1, 2, \dots, n-1$ のとき

$$P_{k+1,k} = P_{k,k-1} + (\alpha + k)h$$

証明 (1/4)

まず

$$\tilde{\gamma} = (g')^\alpha \gamma$$

の両辺を微分すると

曲率の微分の変換則

証明 (2/4)

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

証明 (2/4)

$$\begin{aligned}\tilde{\gamma}' &= \alpha(g')^{\alpha-1}g''\gamma + (g')^{\alpha+1}\gamma' \\ &= \alpha h\tilde{\gamma} + (g')^{\alpha+1}\gamma'\end{aligned}$$

よって

$$P_{1,0} = \alpha h$$

したがって $\tilde{\gamma}'$ は補題の式のように表される
また $P_{1,0}$ は $\deg_w P_{1,0} = 1$ の同次多項式

次に $k = 1, 2, \dots, n-1$ のとき

- $\tilde{\gamma}^{(k)}$ は補題の式のように表される
- $P_{k,l}$ は $\deg_w P_{k,l} = k-l$ の同次多項式である

と仮定する

曲率の微分の変換則

証明 (3/4)

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

証明 (3/4)

$P_{k,l}$ が $h, h', \dots, h^{(k-l-1)}$ の多項式であることに注意すると

$$\begin{aligned}\tilde{\gamma}^{(k+1)} &= \sum_{l=0}^{k-1} \sum_{m=0}^{k-l-1} \frac{\partial P_{k,l}}{\partial h^{(m)}} h^{(m+1)} \tilde{\gamma}^{(l)} + \sum_{l=0}^{k-1} P_{k,l} \tilde{\gamma}^{(l+1)} \\ &\quad + (\alpha + k)(g')^{\alpha+k-1} g'' \gamma^{(k)} + (g')^{\alpha+k+1} \gamma^{(k+1)} \\ &= \sum_{m=0}^{k-1} \frac{\partial P_{k,0}}{\partial h^{(m)}} h^{(m+1)} \tilde{\gamma} + \sum_{l=1}^{k-1} \sum_{m=0}^{k-l-1} \frac{\partial P_{k,l}}{\partial h^{(m)}} h^{(m+1)} \tilde{\gamma}^{(l)} \\ &\quad + \sum_{l=1}^k P_{k,l-1} \tilde{\gamma}^{(l)} + (\alpha + k)h(g')^{\alpha+k} \gamma^{(k)} \\ &\quad + (g')^{\alpha+k+1} \gamma^{(k+1)}\end{aligned}$$

曲率の微分の変換則

証明 (4/4)

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容
序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影
空間への射影

証明 (4/4)

$$\begin{aligned} &= \sum_{m=0}^{k-1} \frac{\partial P_{k,0}}{\partial h^{(m)}} h^{(m+1)} \tilde{\gamma} \\ &+ \sum_{l=1}^{k-1} \left(\sum_{m=0}^{k-l-1} \frac{\partial P_{k,l}}{\partial h^{(m)}} h^{(m+1)} + P_{k,l-1} \right) \tilde{\gamma}^{(l)} + P_{k,k-1} \tilde{\gamma}^{(k)} \\ &+ (\alpha + k)h \left(\tilde{\gamma}^{(k)} - \sum_{l=0}^{k-1} P_{k,l} \tilde{\gamma}^{(l)} \right) + (g')^{\alpha+k+1} \gamma^{(k+1)} \end{aligned}$$

よって3つの漸化式が得られる

更に $\deg_w P_{k,l}$ を計算することができる

例

$P_{k+1,k}$

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 4 ($P_{k+1,k}$)

$k = 1, 2, \dots, n-1$

$P_{1,0} = \alpha h$ および漸化式 3:

$$P_{k+1,k} = P_{k,k-1} + (\alpha + k)h$$

より

$$\begin{aligned} P_{k+1,k} &= P_{1,0} + \sum_{l=1}^k (\alpha + l)h \\ &= (k+1) \left(\alpha + \frac{k}{2} \right) h \end{aligned}$$

特に

$$P_{n,n-1} = 0 \quad (\text{重み付き次数 } 1 \text{ とみなす})$$

例

$P_{2,0}, P_{3,0}$

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン閉曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 5 ($P_{2,0}, P_{3,0}$)

$P_{1,0} = \alpha h$ および漸化式 1:

$$P_{k+1,0} = \sum_{m=0}^{k-1} \frac{\partial P_{k,0}}{\partial h^{(m)}} h^{(m+1)} - (\alpha + k)P_{k,0}h$$

$$(k = 1, 2, \dots, n-1)$$

より

$$P_{2,0} = \alpha h' - \alpha(\alpha + 1)h^2$$

更に $n \geq 3$ のとき

$$P_{3,0} = \alpha h'' - \alpha(3\alpha + 4)hh' + \alpha(\alpha + 1)(\alpha + 2)h^3$$

例

$n = 2$

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 6 ($n = 2$)

$n = 2$ とする

現れる多項式は $P_{1,0}$, $P_{2,0}$, $P_{2,1}$

まず

$$P_{1,0} = -\frac{1}{2}h$$

例 4 より

$$P_{2,1} = 0$$

例 5 より

$$\begin{aligned} P_{2,0} &= -\frac{1}{2}h' + \frac{1}{4}h^2 \\ &= -\frac{1}{2}S(g) \end{aligned}$$

例

$n = 3$

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 7 ($n = 3$)

$n = 3$ とする

現れる多項式は $P_{1,0}, P_{2,0}, P_{2,1}, P_{3,0}, P_{3,1}, P_{3,2}$
まず

$$P_{1,0} = -h$$

例 4 より

$$P_{2,1} = -h, \quad P_{3,2} = 0$$

例 5 より

$$P_{2,0} = -h',$$

$$\begin{aligned} P_{3,0} &= -h'' + hh' \\ &= -(S(g))' \end{aligned}$$

例

$n = 3$ (続き)

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 7 (続き)

漸化式 2:

$$P_{k+1,l} = \sum_{m=0}^{k-l-1} \frac{\partial P_{k,l}}{\partial h^{(m)}} h^{(m+1)} + P_{k,l-1} - (\alpha + k)P_{k,l}h$$

$$(k = 2, 3, \dots, n-1, l = 1, 2, \dots, k-1)$$

より

$$\begin{aligned} P_{3,1} &= \frac{\partial P_{2,1}}{\partial h} h' + P_{2,0} - P_{2,1}h \\ &= -h' - h' + h^2 \\ &= -2S(g) \end{aligned}$$

曲率の変換則

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン閉曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

定理 1

$$\gamma \in \mathcal{M}_n$$

κ_i : γ の第 i 曲率 ($i = 1, 2, \dots, n-1$)

$$g \in \text{Diff}(S^1)$$

$$\tilde{\gamma} = \gamma \cdot g$$

$\tilde{\kappa}_i$: $\tilde{\gamma}$ の第 i 曲率

$\implies l = 0, 1, 2, \dots, n-3$ のとき

$$\tilde{\kappa}_{n-l-1} = (g')^{n-l} \kappa_{n-l-1} - P_{n,l} - \sum_{k=l+1}^{n-2} (g')^{n-k} \kappa_{n-k-1} P_{k,l}$$

また

$$\tilde{\kappa}_1 = (g')^2 \kappa_1 + \frac{n(n^2-1)}{12} S(g)$$

曲率の変換則

証明 (1/3)

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

証明 (1/3)

$$\begin{aligned}\tilde{\gamma}^{(n)} &= \sum_{l=0}^{n-2} P_{n,l} \tilde{\gamma}^{(l)} + (g')^{\alpha+n} \gamma^{(n)} \quad (\because \text{曲線の微分の変換則}) \\ &= \sum_{l=0}^{n-2} P_{n,l} \tilde{\gamma}^{(l)} - (g')^{\alpha+n} \sum_{k=0}^{n-2} \kappa_{n-k-1} \gamma^{(k)} \quad (\because \text{曲率の定義}) \\ &= \sum_{l=0}^{n-2} P_{n,l} \tilde{\gamma}^{(l)} - (g')^n \kappa_{n-1} (g')^\alpha \gamma \\ &\quad - \sum_{k=1}^{n-2} (g')^{n-k} \kappa_{n-k-1} (g')^{\alpha+k} \gamma^{(k)}\end{aligned}$$

曲率の変換則

証明 (2/3)

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

証明 (2/3)

$$\begin{aligned} &= \sum_{l=0}^{n-2} P_{n,l} \tilde{\gamma}^{(l)} - (g')^n \kappa_{n-1} \tilde{\gamma} \\ &\quad - \sum_{k=1}^{n-2} (g')^{n-k} \kappa_{n-k-1} \left(\tilde{\gamma}^{(k)} - \sum_{l=0}^{k-1} P_{k,l} \tilde{\gamma}^{(l)} \right) \\ &\quad (\because \text{曲線の微分の変換則}) \end{aligned}$$

よって定理の第1式および

$$\tilde{\kappa}_1 = (g')^2 \kappa_1 - P_{n,n-2}$$

が得られる

曲率の変換則

証明 (3/3)

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

証明 (3/3)

ここで漸化式 2 および例 4 より

$$\begin{aligned} P_{k+1,k-1} - P_{k,k-2} &= \frac{\partial P_{k,k-1}}{\partial h} h' - (\alpha + k) P_{k,k-1} h \\ &= k \left(\alpha + \frac{k-1}{2} \right) h' \\ &\quad - (\alpha + k) k \left(\alpha + \frac{k-1}{2} \right) h^2 \end{aligned}$$

更に例 5 より

$$P_{n,n-2} = -\frac{n(n^2-1)}{12} S(g)$$

\mathcal{M}_2 の軌道への同変射影

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

$$n = 3, 4, 5 \dots$$

$$\gamma \in \mathcal{M}_n$$

κ_1 : γ の第 1 曲率

$\bar{\gamma}: \mathbf{R} \rightarrow \mathbf{R}^2 \setminus \{0\}$: 等積中心アファイン平面曲線 s.t.

$$\text{等積中心アファイン曲率} = \frac{6}{n(n^2 - 1)} \kappa_1$$

更に $\text{Diff}(S^1)$ の作用を考える

定理 2

$\bar{\gamma} \in \mathcal{M}_2$ ならば γ から $\bar{\gamma}$ への対応は γ の軌道から $\bar{\gamma}$ の軌道への同変写像を定める:

$$\overline{\gamma \cdot g} = \bar{\gamma} \cdot g \quad (g \in \text{Diff}(S^1))$$

M_2 の軌道への同変射影

証明

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

証明

定理 1 より第 1 曲率の変換則は

$$\tilde{\kappa}_1 = (g')^2 \kappa_1 + \frac{n(n^2 - 1)}{12} S(g)$$

$\bar{\kappa}_1, \tilde{\bar{\kappa}}_1$ を $\bar{\gamma}, \overline{\gamma \cdot g}$ の等積中心アファイン曲率とする
このとき

$$\frac{n(n^2 - 1)}{6} \tilde{\bar{\kappa}}_1 = (g')^2 \cdot \frac{n(n^2 - 1)}{6} \bar{\kappa}_1 + \frac{n(n^2 - 1)}{12} S(g)$$

\Updownarrow

$$\tilde{\bar{\kappa}}_1 = (g')^2 \bar{\kappa}_1 + \frac{1}{2} S(g)$$

これは $n = 2$ のときの等積中心アファイン曲率の変換則

例

\mathcal{M}_{2m} の軌道から $\mathcal{M}_{2,l}$ への同変射影

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン閉曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 8 (\mathcal{M}_{2m} の軌道から $\mathcal{M}_{2,l}$ への同変射影)

$m = 2, 3, 4, \dots$

$\gamma \in \mathcal{M}_{2m}$: 例 2 の定曲率等積中心アファイン閉曲線

$$\gamma(s) = (\cos \lambda_1 s, \sin \lambda_1 s, \dots, \cos \lambda_m s, \mu \sin \lambda_m s) \quad (s \in S^1)$$

○ $\lambda_1, \lambda_2, \dots, \lambda_m$: 互いに異なる自然数

$$\circ \frac{1}{\mu} = \prod_{i=1}^m \lambda_i \prod_{i < j} (\lambda_i^2 - \lambda_j^2)^2$$

$$\circ t^{2m} + \kappa_1 t^{2m-2} + \dots + \kappa_{2m-1} = (t^2 + \lambda_1^2) \cdots (t^2 + \lambda_m^2)$$

特に

$$\kappa_1 = \lambda_1^2 + \lambda_2^2 + \dots + \lambda_m^2$$

例

\mathcal{M}_{2m} の軌道から $\mathcal{M}_{2,l}$ への同変射影 (続き)

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 8 (続き)

ここで

$$\lambda_1 := l, \quad \lambda_2 := 3l, \quad \dots, \quad \lambda_m := (2m-1)l \quad (l \in \mathbf{N})$$

このとき

$$\frac{6}{2m\{(2m)^2 - 1\}} \kappa_1 = l^2$$

よって

$$\bar{\gamma}(s) = \left(\cos ls, \frac{1}{l} \sin ls \right) \quad (s \in S^1)$$

特に $\bar{\gamma}$ は回転数 l の等積中心アファイン平面閉曲線

すなわち $\bar{\gamma} \in \mathcal{M}_{2,l}$

γ から $\bar{\gamma}$ への対応は γ の軌道から $\mathcal{M}_{2,l}$ への同変写像を定める

例

\mathcal{M}_{2m+1} の軌道から $\mathcal{M}_{2,l}$ への同変射影

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン閉曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 9 (\mathcal{M}_{2m+1} の軌道から $\mathcal{M}_{2,l}$ への同変射影)

$m \in \mathbf{N}$

$\gamma \in \mathcal{M}_{2m+1}$: 例 3 の定曲率等積中心アファイン閉曲線

$$\gamma(s) = (\cos \lambda_1 s, \sin \lambda_1 s, \dots, \cos \lambda_m s, \sin \lambda_m s, \mu) \quad (s \in S^1)$$

○ $\lambda_1, \lambda_2, \dots, \lambda_m$: 互いに異なる自然数

$$\circ \frac{1}{\mu} = \prod_{i=1}^m \lambda_i^3 \prod_{i < j} (\lambda_i^2 - \lambda_j^2)^2$$

$$\circ t^{2m+1} + \kappa_1 t^{2m-1} + \dots + \kappa_{2m} = t(t^2 + \lambda_1^2) \cdots (t^2 + \lambda_m^2)$$

特に

$$\kappa_1 = \lambda_1^2 + \lambda_2^2 + \dots + \lambda_m^2$$

例

\mathcal{M}_{2m+1} の軌道から $\mathcal{M}_{2,l}$ への同変射影 (続き)

等積中心アファ
イン閉曲線
のなす空間の
間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ
イン閉曲線

等積中心アファ
イン閉曲線

平面曲線の
場合

一般次元の
場合

平面への射影

空間への射影

例 9 (続き)

ここで

$$\lambda_1 := 2l, \quad \lambda_2 := 4l, \quad \dots, \quad \lambda_m := 2ml \quad (l \in \mathbf{N})$$

このとき

$$\frac{6}{(2m+1)\{(2m+1)^2-1\}} \kappa_1 = l^2$$

よって

$$\bar{\gamma}(s) = \left(\cos ls, \frac{1}{l} \sin ls \right) \quad (s \in S^1)$$

特に $\bar{\gamma} \in \mathcal{M}_{2,l}$

γ から $\bar{\gamma}$ への対応は γ の軌道から $\mathcal{M}_{2,l}$ への同変写像を定める

\mathcal{M}_3 の軌道への同変射影

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン閉曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

$$n = 4, 5, 6 \dots$$

$$\gamma \in \mathcal{M}_n$$

κ_1, κ_2 : γ の第 1 曲率, 第 2 曲率

$\bar{\gamma}: \mathbf{R} \rightarrow \mathbf{R}^3 \setminus \{0\}$: 等積中心アファイン空間曲線 s.t.

$$\text{第 1 曲率} = \frac{24}{n(n^2 - 1)} \kappa_1$$

$$\text{第 2 曲率} = \frac{24}{n(n^2 - 1)(n - 2)} \kappa_2$$

更に $\text{Diff}(S^1)$ の作用を考える

定理 3

$\bar{\gamma} \in \mathcal{M}_3$ ならば γ から $\bar{\gamma}$ への対応は γ の軌道から $\bar{\gamma}$ の軌道への同変写像を定める

M_3 の軌道への同変射影

証明

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン閉曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

証明

定理 1 より第 1 曲率の変換則は

$$\tilde{\kappa}_1 = (g')^2 \kappa_1 + \frac{n(n^2 - 1)}{12} S(g)$$

第 2 曲率の変換則は

$$\tilde{\kappa}_2 = (g')^3 \kappa_2 - P_{n,n-3} - (g')^2 \kappa_1 P_{n-2,n-3}$$

更に計算すると

$$P_{n-2,n-3} = -(n-2)h, \quad P_{n,n-3} = -\frac{n(n^2-1)(n-2)}{24} (S(g))'$$

以下は定理 1 の証明と同様

例

\mathcal{M}_{2m} の軌道から \mathcal{M}_3 の軌道への同変射影

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン閉曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 10 (\mathcal{M}_{2m} の軌道から \mathcal{M}_3 の軌道への同変射影)

$m = 2, 3, 4, \dots$

$\gamma \in \mathcal{M}_{2m}$: 例 2 の定曲率等積中心アファイン閉曲線

$$\gamma(s) = (\cos \lambda_1 s, \sin \lambda_1 s, \dots, \cos \lambda_m s, \mu \sin \lambda_m s) \quad (s \in S^1)$$

○ $\lambda_1, \lambda_2, \dots, \lambda_m$: 互いに異なる自然数

$$\circ \frac{1}{\mu} = \prod_{i=1}^m \lambda_i \prod_{i < j} (\lambda_i^2 - \lambda_j^2)^2$$

$$\circ t^{2m} + \kappa_1 t^{2m-2} + \dots + \kappa_{2m-1} = (t^2 + \lambda_1^2) \cdots (t^2 + \lambda_m^2)$$

特に

$$\kappa_1 = \lambda_1^2 + \lambda_2^2 + \dots + \lambda_m^2, \quad \kappa_2 = 0$$

例

\mathcal{M}_{2m} の軌道から \mathcal{M}_3 の軌道への同変射影 (続き)

等積中心アファ
イン閉曲線
のなす空間の
間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ
イン閉曲線

等積中心アファ
イン閉曲線

平面曲線の
場合

一般次元の
場合

平面への射影

空間への射影

例 10 (続き)

ここで

$$\lambda_1 := l, \quad \lambda_2 := 3l, \quad \dots, \quad \lambda_m := (2m-1)l \quad (l \in \mathbf{N})$$

このとき

$$\frac{24}{2m\{(2m)^2 - 1\}} \kappa_1 = (2l)^2$$

更に $\kappa_2 = 0$ だから

$$\bar{\gamma}(s) = \left(\cos 2ls, \sin 2ls, \frac{1}{8l^3} \right) \quad (s \in S^1)$$

特に $\bar{\gamma} \in \mathcal{M}_3$

γ から $\bar{\gamma}$ への対応は γ の軌道から $\bar{\gamma}$ の軌道への同変写像を定める

例

\mathcal{M}_{2m+1} の軌道から \mathcal{M}_3 の軌道への同変射影

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン閉曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 11 (\mathcal{M}_{2m+1} の軌道から \mathcal{M}_3 への同変射影)

$m = 2, 3, 4, \dots$

$\gamma \in \mathcal{M}_{2m+1}$: 例 3 の定曲率等積中心アファイン閉曲線

$$\gamma(s) = (\cos \lambda_1 s, \sin \lambda_1 s, \dots, \cos \lambda_m s, \sin \lambda_m s, \mu) \quad (s \in S^1)$$

○ $\lambda_1, \lambda_2, \dots, \lambda_m$: 互いに異なる自然数

$$\circ \frac{1}{\mu} = \prod_{i=1}^m \lambda_i^3 \prod_{i < j} (\lambda_i^2 - \lambda_j^2)^2$$

$$\circ t^{2m+1} + \kappa_1 t^{2m-1} + \dots + \kappa_{2m} = t(t^2 + \lambda_1^2) \cdots (t^2 + \lambda_m^2)$$

特に

$$\kappa_1 = \lambda_1^2 + \lambda_2^2 + \dots + \lambda_m^2, \quad \kappa_2 = 0$$

例

\mathcal{M}_{2m+1} の軌道から \mathcal{M}_3 の軌道への同変射影 (続き)

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

等積中心アフィン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

例 11 (続き)

ここで

$$\lambda_1 := l, \quad \lambda_2 := 2l, \quad \dots, \quad \lambda_m := ml \quad (l \in \mathbf{N})$$

このとき

$$\frac{24}{(2m+1)\{(2m+1)^2-1\}} \kappa_1 = l^2$$

更に $\kappa_2 = 0$ だから

$$\bar{\gamma}(s) = \left(\cos ls, \sin ls, \frac{1}{\beta} \right) \quad (s \in S^1)$$

特に $\bar{\gamma} \in \mathcal{M}_3$

γ から $\bar{\gamma}$ への対応は γ の軌道から $\bar{\gamma}$ の軌道への同変写像を定める

等積中心アファ
イン閉曲線
のなす空間の
間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ
イン閉曲線

等積中心アファ
イン閉曲線

平面曲線の
場合

一般次元の
場合

平面への射影

空間への射影

ご清聴ありがとうございました